

2025 年春季参加報告書

参加プログラム：高麗大学校

参加時の学年：1 年生 学部：人文 学科：英語英米文化

留学の目的は韓国語の実力を伸ばすことです。私の学科には第二外国語に韓国語がなかったため、独学で学ぶしかありませんでした。事前のクラス分けテストでは韓国語の実力が乏しく、ほとんど話すことができませんでした。そのため事前に予習しておく必要があると考え、韓国語の本を買って勉強しました。

現地での授業では、ある程度予習をしていたこともあり、とても簡単に感じました。しかし日常生活での韓国語は難しく、思うように言葉を伝えることができませんでした。単語力と文法力が足りないと痛感し、自習では授業の内容よりも発展した内容を中心に勉強しました。すると、日々の勉強と積極的な態度を評価され、最優秀賞を受賞することができました。全生徒の前で表彰されたときは恥ずかしかったですが、思い出に残る素敵な賞をいただき、とても嬉しかったです。印象に残ったことは、文化の違いです。韓国と日本では交通機関や生活習慣などは似ていましたが、細かい文化の差がありました。その中でも食文化が特に違いました。韓国は全体的に辛い物が多く、辛い物が苦手な私は少し苦労しました。食のマナーについても、韓国は箸を縦に置いたり、お皿を持ち上げないなどの文化の違いを日常的に感じました。

トウミのプログラムでは、基本的に翻訳機などを使わずに自分の力で話すように努力しました。トウミの学生はとても優しく、私の言っていることを理解しようと努めてくれました。また地元の人しかわからないような食堂、カフェを紹介してくださったり、歴史的建造物を案内してくれました。

今回の留学を通じて、語学学習への意欲がさらに高まりました。一か月という短い期間での留学だったので、語学力を著しく伸ばすことは難しいと思っていましたが、韓国の方々と毎日交流することで、会話力やリスニング力は渡航前よりも成長したと思います。さらに実際に現地で生活をしたことで、自分の韓国語力の低さを感じましたが、それが逆にモチベーションを上げるきっかけになりました。また成長できたのは語学力だけではなく、共同生活を通じて自分の生活習慣において改善すべき点も気づくことができました。

今後の目標は、韓国語の勉強を続け、TOPIK を受験することです。また 2 年生では韓国語の授業を履修し、さらに韓国語力を伸ばしたいと考えています。

